

## 第40回大分県中学校柔道体重別選手権大会 要項

- 1, 名 称 「第40回大分県中学校柔道体重別選手権大会」
- 2, 主 催 大分県柔道連盟
- 3, 主 管 大分県柔道連盟中学部
- 4, 後 援 大分合同新聞社（申請中）
- 5, 期 日 令和7年3月8日（土曜日）
- 6, 日 程
 

|         |             |
|---------|-------------|
| 計 量     | 8:45 ~ 9:15 |
| 審判監督会議  | 9:15 ~ 9:35 |
| 開 始 式   | 9:45 ~      |
| 試 合 開 始 | 9:55 ~      |
| 表 彰 式   | （競技終了後）     |
- 7, 会 場 『クラスス武道スポーツセンター 武道場』  
大分市横尾1351 Tel.097-520-0800
- 8, 競 技 方 法
  - （1）男女とも個人戦のみとし、体重別階級制で行う。
  - （2）全階級トーナメントで行う。

|       |   |
|-------|---|
| 男子8階級 | 50kg、55kg、60kg、66kg、73kg、81kg、90kg、90kg超級 |
| 女子8階級 | 40kg、44kg、48kg、52kg、57kg、63kg、70kg、70kg超級 |
- 9, 競 技 規 則
  - ・「国際柔道連盟試合審判規定」及び国内における「少年大会特別規定」による。
  - ・判定基準は、「技あり」、または「僅差」以上とする。ただし、「僅差」は「指導の差が2以上」とする。「指導の差が1」以内の場合は、GSによる延長戦を行う。「指導」差が上回った時点で試合終了とする。
  - ・試合時間はすべて3分間とする。GSは無制限とする。
- 10, 組 み 合 せ
  - ・実行委員会で、令和6年度大分県中学校新人柔道大会等の成績を参考にしてシード選手を決定した後、厳正なる抽選を行う。
- 11, 参 加 料
  - ・1人につき 800円（保険代を含む）※大会当日受付で納入して下さい。

- 12, 申 込 方 法
 

申込は、①メールアドレスに申込書（様式1.2）をデータ送信をする。  
 ※作成は、申込書の記入例を参照すること。  
②押印した申込書（様式1.2）を郵送先に送付。

|     |  |
|-----|--|
| 郵送先 | 〒879-5506 由布市挾間町向原 440 番地<br>由布市立挾間中学校 後藤 義治 宛       |
|     |  |
| メール | 由布市立挾間中学校 後藤 義治<br>メールアドレス gotou-yoshiharu@oen.ed.jp |

13, 申込期日 令和7年2月7日（金）17:00迄 （期日厳守でお願いします。）

14, 参加資格

- ①大分県内の中学1・2年生とする。
- ②参加者は半年（6か月）以上の修業経験を有する者とする。
- ③参加者は必ず全柔連に登録すると共に、各自で保険に加入していること。
- ④中学校における監督は、出場校の校長・教職員・部活動指導員とし、教職員・部活動指導員以外のコーチは校長の認めた者とする。監督等については、大分県中学校体育連盟引率細則による。併せて監督は、原則公認指導者資格を持つ者とする。
- ⑤地域スポーツ団体の参加については、「大分県中学校体育連盟主催大会に参加を希望する地域スポーツ団体等の条件」を具備すること。併せて「大分県中学校体育連盟地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の参加資格の特例 競技部細則」の条件を満たしていること。

15, その他

- ①期日以降の申し込みは一切受け付けない。
- ②応急処置は主催者で行うが、責任は一切負わない。保険の範囲内での補償とする。
- ③柔道衣（ゼッケンを含む）は、公益財団法人全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。※IJF：赤粋 全柔連：赤番号
- ④貴重品の管理は、学校毎に責任を持って行うこと。靴は、各自で管理する。
- ⑤シード順位決定戦を行う。  
大分県中学校総合体育大会柔道競技個人戦シード選手の選考とする。
- ⑥体重の超過・不足については、500gまで認める。それ以上の超過・不足は、失格とする。
- ⑦エントリーする階級は、県新人大会から変更されてもかまいません。ただし、シード権も関わっていますので県総体出場階級を見据えてのエントリーをお願いします。
- ⑧脳震盪の対応について指導者及び選手は下記事項を遵守する。
  - ・大会1ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ・大会中脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
  - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
  - ・当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- ⑨皮膚真菌症（トンズランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- ⑩全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を厳守すること。
- ⑪この大会は4月開催予定の九州中学校体重別団体優勝大会（男子4名・女子3名）の選考の一つとする。